

* * 放射線相談室だより ~22号~



平成28年10月21日

1

広野町職員も放射線について 学んでいます！

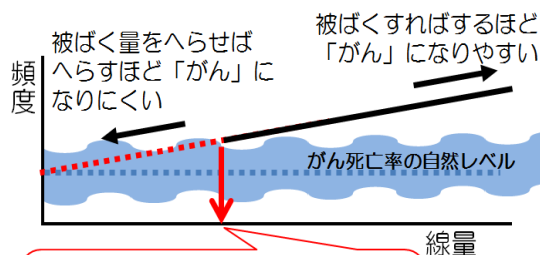
よしおがゆく！

9月16日（金）福島県立医科大学の熊谷先生を講師に迎え、職員対象の放射線研修会を開催しました。研修を受けた職員の学びの声を市民の皆さまへお届けします！



建設課の木村です

放射線の身体への健康影響を知りたくて参加しました。100ミリシーベルト以下ではガンで死亡するリスクが自然のリスクと区別できないことが分かりました。



このレベルが重要……100ミリシーベルト



放射線による被ばくの健康影響を考える場合、まず、どれくらい被ばくしたか、つまり被ばく線量の程度が重要です。



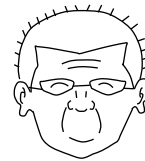
震災から福島で一生をすごす私たちの合計の被ばく量はどれくらいですか？



放射性セシウムによる被ばく線量は生涯でほぼ10mSv以下と考えられています



自然からの空間線量は日本国内でも高い所、低い所があります。県単位で見ますと、最も高い岐阜、最も低い神奈川では0.4mSv/年の差があります。関東平野は関東ローム層が大地からの放射線を遮へいするために低く、西日本は花崗岩が地表に露出しているところが多く1.5倍ほど高い傾向です。



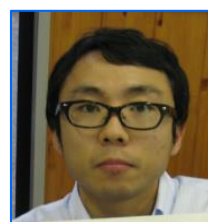
研修会では全国各地からの応援職員が、広野町より自然放射線が高い所もある事が分かり、出身地と広野町の放射線量の違いに興味を持ちました。



環境防災課の今西です



保健センターの市脇です

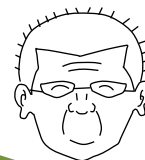


復興企画課の小森です

私たちは岐阜市、東京都、宮崎県からの応援職員です、帰省の時などはDシャトルを使い、出身地と広野町の放射線量の違いを調べてみようと思います。



来月号の放射線相談室使いは役場職員や広野町の企業職員、町民の皆さんがDシャトルを使い放射線量を測定した報告を行う予定です。



放射線健康対策委員からの 放射線に関するコラム

日本人と神様と放射線

福島県立医科大学 医学部放射線物理化学講座

石川徹夫

日本には古来より、自然崇拜といって自然の中に神様が宿っているという考え方があつたそうです。皆さんも神社に行ったときに木にしめ縄が巻いてあるのを見たことがないでしょうか。いわゆる御神木です。木の他にも、森や岩、山や海も神様が宿る場所と考えられてきました。一方、西欧では自然は人間が支配するものという考え方があつたので、日本とは随分と違うなと思つたす。

そのような日本古来の考え方のためかどうかわかりませんが、食べ物でも環境でも人工のものより自然のものの方が良いというイメージがあつたかもしれません。天然、無添加、有機・・・といった言葉は何となく良いイメージがあつたす。しかし考えてみれば自然にも体に悪いものは存在します。毒キノコやフグなど、食べれば死んでしまうような猛毒を持った生き物もあつたす。一方、我々が日ごろ食べている農作物の多くは野生のものではなく、農耕文化の発展とともに人類が栽培し改変してきたものです。つまり、全く自然のものではなく人の手が加わっているわけです。

放射線にしても、自然に存在している放射線は問題ない（場合によっては体に良い）が、原発事故に由来する人工の放射線はたとえわずかであっても体に悪いというイメージを持っていらつたる方もあつたす。しかし科学的な見方をすれば、「受ける線量が同じであれば、自然の放射線でも人工の放射線でも人体への影響は同じである」と言えます。世界には元々の自然放射線レベルが高い地域もあつたす。インドの海岸沿いのある地域では、年間の外部被ばく線量が5ミリシーベルト以上の地域もあつたす。ヨーロッパでも場所によっては福島より空間線量率が高い地域もあつたす。このような地域でも人々が普通に暮らしています。

人工の放射線は確かに元々なかつたところに加わつたものですが、自然の放射線でも人工の放射線でも、線量（シーベルト）という同じ物差しで見ると、少し見方が変わるのかなと思つたす。

2

食品のモニタリング結果総括表 (平成28年9月実施分)

広野町では食品モニタリングを平成23年12月から実施し、現在出荷制限の食品は山菜、キノコなどが多くその他の食品で100Bq/kgを超える食品は少なくなりました。表を見やすくするために今月から記載様式を変更しました。食品モニタリング結果は食品分析検査センター(公民館内)と放射線相談室に置く他、広野町ホームページに掲載しますのでご利用下さい。

【基準値】：一般食品 100Bq/kg 牛乳・乳幼児製品 50Bq/kg 飲料水 10Bq/kg

規制のないの食品		検査数			備考(基準値以上の品目)
		合計	基準値未満	基準値以上	
野菜		13	13	0	
根菜・芋類		6	6	0	
山菜・きのこ		0	0	0	
果物		9	9	0	
穀類		0	0	0	
種実類		2	2	0	
魚介類		0	0	0	
加工食品		0	0	0	
飲料水		0	0	0	
その他(肉類など)		0	0	0	
出荷などを差し控えるよう要請している広野産の食品 (平成28年度:福島県公表)		検査数			備考
		合計	基準値未満	基準値以上	
収穫自粛	ユズ	1	1	0	
	クリ	20	20	0	
出荷制限	くさそてつ(こごみ)	0	0	0	
	たけのこ	0	0	0	
	ふきのとう(野生のもの)	0	0	0	
	ぜんまい(野生のもの)	0	0	0	
	たらのめ(野生のもの)	0	0	0	
	わらび(野生のもの)	0	0	0	
	こしあぶら	0	0	0	
	うど(野生のもの)	0	0	0	
	原木しいたけ(露地)	0	0	0	
	野生きのこ(菌根菌類、腐生菌類)	2	1	1	あみ茸
	キジ、ヤマドリ、カルガモ	0	0	0	
摂取制限	イノシシ	0	0	0	
総検査数		53	52	1	

広野町の各地区の放射線量



広野町の地区別の放射線量をお知らせします。

10月14日8時30分現在（天候：晴れ）の町内50カ所のモニタリングポストの数値をまとめたものです。

地区	測定箇所	放射線量率(μ Sv/h)		地区	測定箇所	放射線量率(μ Sv/h)		
		平成28年 1月14日	今回			平成28年 1月14日	今回	
中央台地区	広野小学校・中学校	0.10	0.10	下北迫地区	町道築地～新町沿(西町)	0.16	0.15	
	広野町保育所	0.10	0.10		高野病院	0.10	0.11	
	広野町児童館	0.10	0.10		広野町役場	0.14	0.12	
	広野町老人福祉センター	0.08	0.07		浜田地区集会所	0.07	0.07	
	広野町公民館	0.08	0.08		下北迫地区集会所	0.08	0.07	
広洋台地区	広洋台地区集会所	0.12	0.12		苗代替地区集会所	0.09	0.08	
	Jヴィレッジスタジアム入口	0.13	0.11		のびっこらんど広野	0.11	0.09	
	Jヴィレッジ東側	注 ¹ 0.22	0.20	広野工業団地入口	0.16	0.16		
	ニッ沼公園	注 ² 0.12	調整中	高速バス利用者駐車場	0.19	0.17		
	ニッ沼公園直売所	0.11	0.11	町道北迫線(北の内前)	0.16	0.14		
上浅見川地区	長畑地区集会所	0.14	0.12	上北迫地区	土ヶ目木農集排施設	0.16	0.13	
	大谷内消防屯所	0.13	0.12		二本櫛集会所	0.11	0.10	
	旧家畜牛削蹄場跡(南山)	0.19	0.16		上北迫地区集会所	0.10	0.09	
	小滝平浄水場	0.11	調整中		田の神地区集会所	0.09	0.08	
	浅見生活改善センター	0.08	0.08		折木地区上	亀ヶ崎地区集会所	0.12	0.13
	小松地区集会所	0.07	0.06			折木地区集会所	0.11	0.12
	箒平地区集会所	0.09	0.08			北沢複合交差点	0.18	0.18
下浅見川地区	広野幼稚園	0.10	0.09	東下地区集会所		0.09	0.09	
	ふたば未来学園	0.08	0.08	南沢地区集会所	0.09	0.08		
	山忠設備工業南側公園	0.13	0.12	西の沢 ため池駐車場	0.10	0.09		
	広野駅前広場	0.16	0.13	折木地区下	国道大平交差点	0.13	0.14	
	桜田地区集会所	0.11	0.12		県道広野～小高線沿	0.19	0.16	
	広桜荘	0.13	0.12		正木内地区集会所	0.09	0.08	
	下浅見川地区集会所	0.07	0.06		折木館地内	0.11	0.10	
	築地地区集会所	0.08	0.08	仮置場	0.13	0.10		

注1 平成27年4月21日より設置。

注2 ニッ沼公園のモニタリングポストは現地ではnGy/h（ナノグレイ毎時）で表示されていますが、 μ Sv/hに換算して掲載しています。



最近の出来事とお知らせ



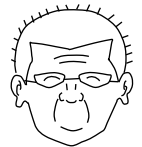
町民からこんなお問い合わせがありました



Q：自家栽培でカボチャを作っています。なんと種のないカボチャが出来ました。放射線（能）の影響ですか？

写真：持ち込まれたカボチャ(広野町食品等の放射能簡易分析検査センター)

A：カボチャの育て方によっては、種が不完全な状態になる形成不全がまれに発生することがよく知られています。食品放射能検査において検出限界値以下の結果であることも踏まえて、放射線の影響ではなく自然現象であると思われます。



参考資料：神奈川県農業技術センター企画研究部 webnews23号 カボチャ異常果を切らずに判別するには

4

放射線相談会のご案内

今後の相談会の予定は以下のとおりです。申し込みの必要はありません。

開催日	会場	時間	開催日	会場	時間
11月8日 (火)	高久・鹿島第4 仮設集会所	午後2時 ～午後3時	11月16日 (水)	二本棚集会所	午前10時 ～午前11時
11月9日 (水)	下北迫集会所	午前10時30分 ～午前11時30分	11月22日 (火)	常磐迎第2仮設 集会所	午後2時 ～午後3時
11月10日 (木)	上北迫集会所 (食の研修会)	午前10時30分～	11月28日 (月)	四倉鬼越仮設 集会所	午後2時 ～午後3時
11月15日 (火)	小松集会所	午前10時 ～午前11時		工業団地仮設 談話室	午後3時15分 ～午後4時15分
	長畑集会所	午後1時30分 ～午後2時30分	発行者		

放射線相談室 080-9252-4773

放射線対策課 0240-27-4162